



TITLE:

<記事>1.概要

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>1.概要. 瀬戸臨海実験所年報 1991, 4: 2-2

ISSUE DATE:

1991-03-29

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/178862>

RIGHT:

1. 概 要

本巻からこの年報の構成を変更して、この「概要」の項を設けて全般的な記事をまとめて簡潔に記すことにした。

◎この第4巻には、昭和63年(1988年)度および平成元年(1989年)度の記事等をまとめて収載した。

◎昭和63年度および平成元年度には次の人事異動があった。北尾幸一事務掛長・貴村好隆事務官・南美代子事務官・湯川寛三郎用務員・和田恵次助手・布施慎一郎助手が転出あるいは定年退職し、新たに桐山正巳事務掛長・戸嶋充雄事務官が着任した。

◎宮地傳三郎元所長が1988年10月21日に逝去された。

◎研究実習船が1988年3月24日に完成し、

「JANTHINA III」と命名した。これは先に廃船とした「くろしお」の代替船である。1989年度末現在の実験所所有船舶は、下記の表と写真の通り。

◎第4水槽室の一部を、1988年8月20日から閉鎖して一般公開を中止した。同水槽室は海水による腐食や亀裂が進行し、大型水槽のガラス破損の危険性も懸念されるに至ったためである。

◎南海岸構内道路の通行に関する協定が、1988年12月20日、八洲企業株式会社および財団法人南方熊楠記念館と本学理学部の間で定められた。これに付帯して、本実験所と上記2者の間で、1989年5月29日に覚書を交わした。

実験所船舶（動力船）一覧

船 名	ベラギア II	ヤンチナ III	ゾエア II
全 長	15.10 m	11.25 m	4.82 m
登 録 長	12.30 m	8.84 m	4.82 m
全 幅	3.45 m	2.60 m	1.63 m
登 録 幅	2.28 m	2.57 m	1.45 m
全 深	1.22 m	1.06 m	0.60 m
登 録 深	1.05 m	1.05 m	0.59 m
総トン数	7.29 トン	3.0 トン	0.93 トン
船 質	FRP	FRP	FRP
主 機 関	ヤンマーディーゼル 4EKS-D	ヤマハディーゼル D201KH×2	ヤマハ船外機 8B (165 cc)
最大出力	60 馬力	74×2 馬力	8 馬力
最高速度	10 ノット	20 ノット	8 ノット
定 員	22 名	23 名	5 名
船 種	小型漁船第1種	小型船舶	小型船舶
建造年月	S. 47. 3	S. 63. 3	S. 54. 1



一部を閉鎖した第4水槽室